

(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	学校法人 明照学園 浄徳幼稚園・じょうとく保育園		
実習期間	平成 30年 2月 19日	～	平成 30年 2月 23日
学生氏名	工藤朋美		
実習プログラム	時間	内容	
	7:50	全体合同保育	
	8:10	朝礼	
	8:20	クラス保育 ↓自由遊び	
	10:20	片付け・トイレ・手洗い	
	10:30	朝の会・工作作り ↓	
	11:50	片付け・トイレ・手洗い	
	11:55	給食準備	
	12:10	↓いただきます	
	13:10	給食片付け	
	13:20	帰りの会	
	14:00	預かり保育	
	14:30	お昼寝	
	15:30	おやつ	
16:00	自由遊び		
17:00	退社		
学び・気づき (300字程度)	子ども一人一人の個性や特徴を知ること、その子どもにあった保育を行うことが出来る。間違いや悪いことをやっていた子どもに対しては、注意してやめさせるとともに何でダメなのかということ伝える。注意しているだけでなく良いことや初めて出来たことに対しては、褒めるとともにその部分をのばすように保育を行っていく。子ども達にとって誕生日を特別な日にするために、朝の会を活用してインタビューを行うことや誕生日にしかつけない名札を使うなど工夫をする。子どもが自分で考えて行動するように保育を行うが、上手く出来ない子どもに対しては一つヒントをあげ行動しやすいように促す。		
今後に向けた 抱負 (200字程度)	保育では、子ども達の自主性を尊重していくことは重要なポイントになってくる。子ども達の自主性を尊重するまえに、まず自分自身の中で自主性をどのようにとらえるかということが必要になってくる。しかし、自分の中で自主性がどのようなものか理解できていない部分があるため、講義や部活動、アルバイトなどを通して自分なりの自主性について考えていきたい。		

インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)

幼稚園部は、一人一人の個性や特徴を把握しながら保育を行うことで、その子どもの良さをのばし成長へとつなげている。子ども達に寄り添って保育を行っており、子ども達が安心して生活できる環境づくりが行われている。褒めることで子どもの良さを引き出し、その良さで子ども達同士が活動の幅を広げられるように表からだけではなく裏からのサポートを行っている。幼稚園部は、子ども達が安全に行動できるように鍵や段差など細かい部分まで配慮が行われている。上手く言葉で伝えることができない子ども達に対して行動や表情を見て、その子どもが何を伝えたいのかを考えサポートを行っている。

写真 (1~3点)

